

# 株主の皆様へ

代表取締役社長

鵜澤 泰功

UZAWA YASUNORI



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。第18期定時株主総会を2023年6月29日（木曜日）に開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。

## 第18期の連結業績について

**営業収益73.2億円、営業利益14.7億円となり、全事業で黒字となりました。**

当期は減収減益となりましたが、市況が厳しいなかでも予想値にほぼ達し、健闘いたしました。これも株主の皆様のご支援の賜物と感謝申しあげます。

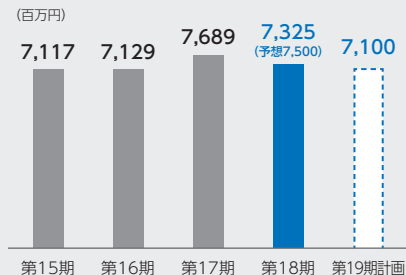
住宅金融事業は、フラット35市場が停滞したにもかかわらず、競合他社と比べマイナス幅が小さく、商品多角化が進展した一年でした。

住宅瑕疵保険等事業及び住宅アカデミア事業に

## 営業収益 (連結)

第18期 73.2億円

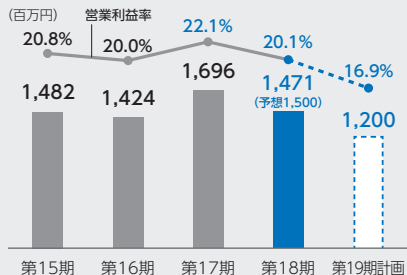
前期比 ▲4.7%



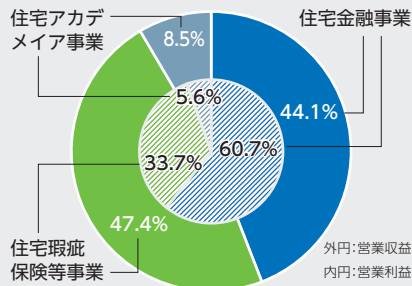
## 営業利益 (連結)

第18期 14.7億円

前期比 ▲13.3%



## 第18期 セグメント構成比



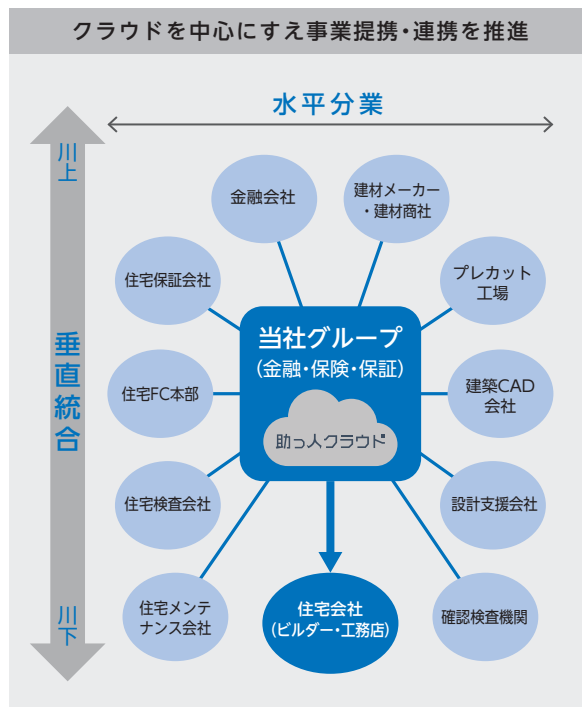
においては、市況の影響を受けつつも、グループ一体による差別化を推進いたしました。

## 経営戦略について

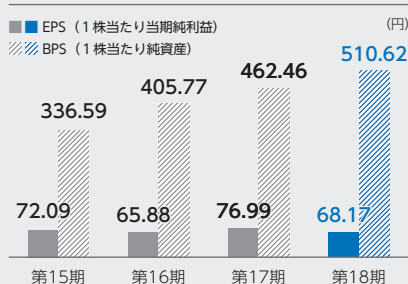
### 混乱期を生き残り、残存者利益と成長のチャンスをつかみます。

インフレが恒常的になり、経営環境の変化スピードは激しさを増しています。私は、今春の米国金融危機が、日本経済に影響を及ぼす可能性は、極めて高いと考えており、現在の状況を見通しがたない「混乱期」であると認識しております。

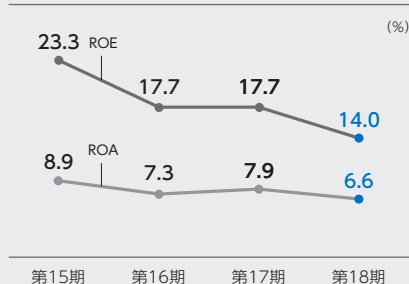
しかし混乱期というのは、産業に隙間が生まれやすく、新しい事業やサービスを始めるタイミングとしては適しています。実際に当社グループでは、過去にも混乱期に新しい挑戦をはじめ、成長への足が



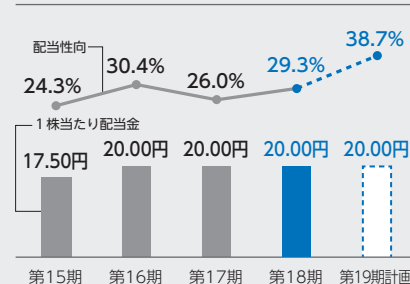
### EPS (1株当たり当期純利益) ※ BPS (1株当たり純資産) ※



### ROE (自己資本当期純利益率) ※ ROA (総資産経常利益率) ※



### 1株当たり配当金 ※ 配当性向



※ 2020年9月1日付で1株につき2株の株式分割を行ったため、第15期の数値に関しては当該株式分割後の金額を算定しております。

かりをつかんできました。

当社グループでは、第19期の経営戦略として「生き残り戦略こそ最高の成長戦略」をテーマに掲げております。具体的には、製造業の国内回帰により雇用と住宅需要の拡大が見込まれるエリアに注力し、業界ネットワークを活かして様々な企業と事業提携を進め（前頁右上図参照）、シェアの維持を図ります。

また、変化に対応し残存者利益を確保しつつも、次のチャンスも虎視眈々と狙います。攻撃的な待ち姿勢を取り、中古住宅流通市場の拡大を見据えて次のステージにつなげてまいります。

## 株主の皆様へのメッセージ

**住宅産業のプラットフォーマーを目指し  
持続的成長を実現してまいります。**



当社グループの使命は、住宅産業の課題解決を行い、住宅会社の経営を支援すること。厳しい環境ゆえに高まる課題解決ニーズをチャンスととらえ、引き続き企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

## 当社グループの沿革

# 混乱期こそ 成長の分岐点

当社グループは、バブル崩壊後の1996年に創業し、厳しい環境時にチャンスを見出し、事業領域を広げ成長してきました。

